

## 平成 29 年度市政懇談会 開催議事録

開催日時：平成 29 年 7 月 4 日（火）午後 7 時～8 時 30 分

場 所：滝川公民館

出席者：24 名

### 《フリートーク（意見交換）》

- 1 大原小学校付近への防犯カメラ設置について
- 2 通学路の歩道等設置について
- 3 農業集落排水工事に伴う迂回路について
- 4 小原地区（原坪）の踏切について
- 5 太陽光発電施設（JR 東日本所有地）への除草剤散布について
- 6 防災無線の利用について
- 7 広報かさまの全戸配布について
- 8 農業集落排水事業に伴う道路工事後の復旧について
- 9 潤沼前川の土砂等浚渫について
- 10 地区公民館への固定資産税賦課について
- 11 原子力災害時の 30 k m 圏内の市の考え方について
- 12 原子力発電に伴う放射性廃棄物の処分について
- 13 市内における不審者による被害について
- 14 道路にかかっている個人所有の木の伐採について

### 1 大原小学校付近への防犯カメラ設置について

#### 【意見等】

他県でも子どもを狙った事件が発生しているが、大原小学校付近の通学路も人目が届きにくい危険な個所がある。子どもの安全確保のため、防犯カメラの設置をしてもらえないか。

#### 【回答】

平成 27 年度後半から防犯のために監視カメラの設置をしています。1 か所の交差点に 2 台設置しており、今年度も 10 か所 20 台の設置をしていきます。設置場所は、大きい交差点を中心に警察と協議して決めています。犯罪抑止の観点からも、子どもの安全を考慮した設置場所を検討していきたいと思います。

### 2 通学路の歩道等設置について

#### 【意見等】

下市原から古山の 2 k m の区間は歩道が整備されていない部分があり、そのため、河川敷の道路を通学路として利用している。雨天時に川の水嵩が増したとき、河川との境が分かりにくく危険である。以前に実際におぼれかけた子ども

もいた。河川敷の道路に外側線をひくとか、簡易的でも防護柵を作る等の安全性を考えてもらえないか。

**【回答】**

通学路になっているところで歩道がなく、交通量も多いところがあることは承知していますが、現状では歩道の設置を行うことは土地もなくできない状況です。現在、市内の幹線道路整備がほぼ完了してきましたので、生活道路や歩道等のグレードアップを進めていきたいと思います。通学路の安全性の確保については、ご意見を参考に課題としてしっかりとらえて、どのような方策が有効か学校を交えて検討していきます。

**3 農業集落排水工事について**

**【意見等】**

原坪地区の県道部分の工事の通行止めは、予定どおり秋口までかかるようだが、迂回路としている道路は、農耕車が農作業に利用しているため、一般車両が多くなると危険である。今秋の農繁期の時期の迂回路としての利用はひかえるよう検討してもらえないか。

**【回答】**

地元の方の農作業を優先させ、できるだけ農作業等に影響が出ないように検討します。工事期間についても出来る限り短縮するよう調整していきます。

**4 小原地区（原坪）の踏切について**

**【意見等】**

原坪の踏切は、車両の通行が不可となっている。小原地区は真ん中に JR が通っており、同じ地域でも田畑や住宅が分断されている。そのため、目の前にある田畑に行くのに、車両が通れる道を迂回しなければならないととても不便である。踏切について、地元の農耕車や軽トラックの通行だけでも認めてもらえるよう、市から JR に働きかけてほしい。

また、その際に踏切内で車が脱輪しないように線路内の通行部分を少し広げてもらえないか。

**【回答】**

JR の踏切の車両通行については、状況を良く確認し市が調整できる部分があるかどうか検討していきます。ただ、地元の人だけという区別ができませんので、車両が通行できるようになるかどうかの問題だと思います。今後、地元、笠間市、JR、警察等の関係機関で協議を行えるように検討していきます。

## 5 太陽光発電施設（JR 東日本所有地）への除草剤散布について

### 【意見等】

JR が所有している土地に太陽光発電の施設があり、そこに JR で除草剤を散布している。近くには田畑や住宅もあり、雨水とともに流入することも考えられることから、JR に対し使用している除草剤の提示を求めた。除草剤はあまり聞いたことがない商品名であった。人体はもちろん、生活に影響が出ない程度の除草剤を使ってほしいと思う。

### 【回答】

前出の踏切の件と合わせて、状況を確認したうえで、対応を検討していきます。しばらくの間、時間をいただきたいと思います。

## 6 防災無線の利用について

### 【意見等】

防災無線の柱の根本にあるボックスの中にマイクが入っている。それを利用するとその範囲だけに放送ができると聞いた。地区でお知らせしたいときに利用したいが、市に問い合わせたところ利用しないしてほしいと言われたが、なぜ利用することはできないか。

また、防災無線の内容が聞き取りにくく、わからないことが多いので改良してほしい。

### 【回答】

合併前は、それぞれ防災無線の使い方が違っていて、合併を機に利用方法を統一しました。以前は、火災の情報等いろいろな使い方をしていましたが、近隣から音がうるさいとの苦情があり、現在は、皆さんの命にかかわる災害、イノシシの駆除、認知症の方の行方不明の時に防災無線を利用しています。

防災無線は、緊急時の情報伝達のための手段として利用するもので、地域での使用が緊急時の妨げにもなることもあるため使用を禁止しています。ご理解いただきたいと思います。

また、無線の内容が聞こえにくいという意見は、特に山間地域で多く伺っています。よく聞こえるように改修をすることも一つですが、現在国では、防災無線の放送をアナログからデジタルへ切り替えるよう推進していて、これにも多額の費用がかかることから、防災無線は現状を維持しておいて、いくつかの市町村が行っている防災ラジオの導入も一つの方法だと考えています。

何通りかの方法で、皆さんへお知らせができる体制を築くことが大切であると考えています。今後検討を重ねていきます。

## 7 広報かさまの全戸配布について

### 【意見等】

広報かさまを始め、全戸配布の書類を取るように話しているが、見ない（取らない）家が多いと感じている。特に広報紙は良くできていてそれなりの費用がかかっていると思う。広報紙の内容はホームページでも見ることができるため、予算の無駄が多いのではないか。本当にほしい人に渡すようにして、全戸配布ではなく回覧にしてはどうか。

### 【回答】

確かにその傾向はあるかと思えます。しかし、紙ベースの広報紙がなくなってしまうと高齢者等はホームページが見られないという意見も多くあるのも事実です。紙媒体と電子媒体の両方とも必要であると考えています。今は、紙媒体と電子媒体の過渡期だと思えます。

## 8 農業集落排水事業に伴う道路工事後の復旧について

### 【意見等】

農業集落排水の管路工事で、道路を復旧する際に、工事をした部分だけの復旧だと思うが、滝川地区の池野辺へ向かう道路は、幅員も狭く、古くて傷んでいるので、ガタガタになってしまう。復旧は掘削した部分だけでなく、全面を舗装復旧してもらえないか。

### 【回答】

現場の状況を良く勘案して、対応していきます。

## 9 涸沼前川の土砂等浚渫について

### 【意見等】

涸沼前川には、土砂が堆積して中洲ができており、雨が降ると水嵩が増してしまい、溢れそうになっている。水戸土木事務所に土砂をさらってほしいと依頼しても、土砂を捨てる場所の確保等いろいろ条件があり対応してもらえない。水が出て被害が起きてからでは遅いので、河川の土砂等の浚渫をしてもらえないか。

約20年前に行ってもらった時には、不動谷津池の堤防の下に浚渫した土砂を持って行った経緯がある。そこに今回も捨ててはどうか。

### 【回答】

河川の土砂の浚渫については、市を通して県に依頼することもしているので、現状を調べて市から県へ連絡をさせます。

現在、笠間駅南側の涸沼川の土砂の浚渫を行っており、県でも順次対応しています。土砂の廃棄場所についても現地を良く確認してみます。

## 10 地区公民館への固定資産税賦課について

### 【意見等】

現在、新しくなった原坪公民館に賦課されている固定資産税の減免申請を行っている。立て替える前の公民館に対しては、固定資産税の納税通知がなかったと思い、固定資産税が毎年課税され毎年減免申請するものなのか市役所窓口で問い合わせた。すると、公民館であっても固定資産税は賦課されることとなっていて、以前から送付しているとの説明があったので、その内容を示す書類の提示をもとめた。後日送付するとのことで本日まで待っているが何の連絡もない。

そもそも公民館は非課税ではないのか。課税対象としても毎年減免申請をしなければならないのか。回答がほしい。

### 【回答】

固定資産税については、課税対象と非課税対象の建物があります。また課税対象ではあるが、減免対象の建物もあります。

地区の公民館は、後者にあたるかと思いますが、お渡しすると約束した書類と合わせ担当課に良く確認をして回答します。

## 11 原子力災害時の 30 k m圏内の市の考え方について

### 【意見等】

市内における東海原発から半径 30 k m圏内のエリアはきちんと距離で分けるのか伺いたい。

### 【回答】

笠間市としての東海原発から半径 30km 圏内（緊急防護措置区域：UPZ）の分け方の考え方は、距離で分けてしまうのではなく、圏内に入っている大字はすべて UPZ 内としています。

広域避難計画策定の一つとして、原子力災害が発生した際の笠間市民の皆さんが避難する受け入れ先（栃木県の小山市、真岡市、下野市、上三川町、壬生町）と合意をしており、3月にそれぞれ調印式を行いました。

今後は、実際にどの市町のどの小中学校に何人避難できるか具体的に内容を詰めて計画策定に取り組んでいきます。

## 12 原子力発電に伴う放射性廃棄物の処分について

### 【意見等】

原子力発電による放射性廃棄物の受け入れについて、国の説明内容や笠間市の考え方について伺いたい。

### 【回答】

国（経済産業省）は、今回の説明では、どこに受け入れてほしいという内容ではなく、例えば地下に活断層があるところは指定できない等の条件を提示しただけで、それ以上の具体的な説明はありませんでした。

市としては、もちろん受け入れられませんし、受け入れることは考えておりません。

### 13 市内における不審者による被害について

#### 【意見等】

他県でも悪質な変質者による被害が出ているが、市内で被害にあった等の情報があったら教えてほしい。

#### 【回答】

2週間ほど前に、笠間ショッピングセンターポレポレシティのトイレで、家族とともに買い物に来ていた女の子が男に襲われそうになった事件がありました。警察への連絡が早かったことから、犯人は逮捕されましたので、大きい被害はなくて済みました。

しかし、学校帰りに声をかけられているケースもたまに報告されていますので、地域の皆さんにも注意して見ていただきたいと思います。

### 14 道路にかかっている個人所有の木の伐採について

#### 【意見等】

通学路にもなっている中市原から下市原の道路に木が覆いかぶさっている部分があり、所有者に伐採をお願いするのに有効な方法はないか。

#### 【回答】

個人所有の木の伐採等については、市の担当へその旨連絡いただければ、担当課で現地確認を行って所有者へ指導しますので、ご連絡をいただければと思います。